

2024年度予算案での主なFMS対象事業

機関名	事業名	FMS契約額	新規後年度負担
空自	F35Bの取得（7機）	1282億円	1080億円
空自	F35Aの取得（8機）	1120億円	930億円
空自	F35A関連経費	1092億円	921億円
海自	技術支援関連経費	754億円	716億円
海自	弾道ミサイル防衛用誘導弾の整備	699億円	664億円
空自	弾薬の取得	557億円	530億円
海自	弾薬の取得	484億円	452億円
空自	F35B関連経費	373億円	342億円
海自	イージス装置等の維持整備	333億円	316億円
陸自	V22オスプレイの維持整備	199億円	189億円

※日本共産党の山添拓参院議員に提出された防衛省資料から作成

武器輸入9割口ローン

次年度以降に支払い回し爆買い

山添氏に防衛省

↓関連2面

2024年度予算案で計画されている武器輸入の詳細が、日本共産党の山添拓参院議員に対して防衛省が提出した資料で判明しました。

た。①米政府から購入する「有償軍事援助(FMS)」②直接または商社を通じて外国から武器を購入する「一般輸入」のいずれも契約額の約9割が、次年度以降新たに支払う軍事口

上り、前年度から1726億円で、そのうち新規後年度負担は8156億円に上ります。これに伴って軍事ローンは膨らみ統合され、ローン総額である「後年負担」は1兆超と過去最高を更新しています。

内訳をみると、特に高額

た。①米政府から購入する「有償軍事援助(FMS)」②直接または商社を通じて外国から武器を購入する「一般輸入」のいずれも契約額の約9割が、次年度以降新たに支払う軍事口

上り、前年度から1726億円で、そのうち新規後年度負担は8156億円に上ります。これに伴って軍事ローンは膨らみ統合され、ローン総額である「後年負担」は1兆超と過去最高を更新しています。

内訳をみると、特に高額

24年度予算案

なのはF35B、F35Aステルス戦闘機です。取得費は

それぞれ1282億円(8機)、1120億円(7機)で、関連経費を含めると計3905億円になります。

弾薬の調達費や修理費についても、陸海空自衛隊合わせて1949億円が上ります。

また、陸自V22オスプレイの維持整備費に201億円を投じており、維持運営のコストがかかります。

また、陸自V22オスプレイの維持整備費に201億円を投じており、維持運営のコストがかかります。